

# 「目指す子どもの姿」を明確にするために

※「目指す子どもの姿」…ここでは教科等の指導における目指す子どもの姿

## 1 来年度の「目指す子どもの姿」で、解釈が異なりそうな言葉を明らかにします

- 学校の教育目標、子どもたちの実態、今年度の検証結果、自校の課題、地域や保護者の願い等を踏まえている
- 学力の3要素（のいずれか）を含んでいる
- 使用する言葉の意味の共通理解が図られている



組織的に研究を進めるためには、目標をはっきりさせ、全職員で共通理解を図って取り組むことが大切ですが、言葉の意味の解釈は、人によって異なる場合があります。例えば、「遠い（距離）」と言われた時に、それぞれがイメージする距離は人によって異なるのではないのでしょうか。

「1」で示された「目指す子どもの姿」を全職員で共通理解する際に、人によって解釈が異なりそうな言葉はありませんか？

○人によって解釈が異なりそうな言葉

(1)	(2)
(3)	(4)



## 2 解釈が異なりそうな言葉を、具体的に表現します

その言葉の解釈が人によって異ならないようにするために、言葉を補って、より具体的に表すとすれば、どう表現しますか？  
右の枠内にそれぞれ書いてみましょう。

1 (1)	→	(1)
1 (2)	→	(2)
1 (3)	→	(3)
1 (4)	→	(4)

- 子どもの具体的な姿で表現することができている
- 複数の観点が混在した表現となっていない
- どの教科等でも目指すことができる具体的な姿となっている



## 3 「2」のような子どもに育てるために主に育成する力を考えます

「2」が表す子どもの姿を実現させるために、「学力の三要素」を踏まえて、これから育てなければならない力は何ですか？

【表現例】(①～③は学力の三要素)

- ①基礎的・基本的な知識・技能
  - 言葉の使い方や漢字の習得（知識）
  - 教科等の枠を超えて活用できる力（技能）
  - 発達段階に応じた話す力・聞く力・書く力（技能）等
- ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
  - 資料等を基に考える力（思考力）
  - 結果から原因を推測する力（思考力）
  - 様々な考えの中から最適解を選び出す力（判断力）
  - 条件に適した方法を選択する力（判断力）
  - 自分の考えを適切な言葉で伝える力（表現力）
  - 思考を可視化する力（表現力） 等
- ③主体的に学習に取り組む態度
  - 自ら問いを發し、興味・関心をもって学ぶ力（意欲）
  - 課題を發見し、学習課題を設定しようとする力（意欲）
  - 学習の見通しをもち、課題を解決しようとする力（主体性） 等

2 (1)	→	(1)
2 (2)	→	(2)
2 (3)	→	(3)
2 (4)	→	(4)

- 評価できる力（資質、能力）となっている
  - 教科等の指導を通して育てることができる力となっている
  - 学力の三要素が含まれている
- 学力の三要素とは…
- ①基礎的・基本的な知識・技能
  - ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
  - ③主体的に学習に取り組む態度



共通実践事項の検討



評価方法等の検討

等

# 「目指す子どもの姿」を明確にするために

※「目指す子どもの姿」…ここでは教科等の指導における目指す子どもの姿

## 1 来年度の「目指す子どもの姿」で、解釈が異なりそうな言葉を明らかにします

(例) 主体的に学習に取り組み、自分の考えを深めたり広げたりできる子ども

- 学校の教育目標、子どもたちの実態、今年度の検証結果、自校の課題、地域や保護者の願い等を踏まえている
- 学力の3要素 (のいずれか) を含んでいる
- 使用する言葉の意味の共通理解が図られている

組織的に研究を進めるためには、目標をはっきりさせ、全職員で共通理解を図って取り組むことが大切ですが、言葉の意味の解釈は、人によって異なる場合があります。例えば、「遠い(距離)」と言われた時に、それぞれがイメージする距離は人によって異なるのではないのでしょうか。

「1」で示された「目指す子どもの姿」を全職員で共通理解する際に、人によって解釈が異なりそうな言葉はありませんか？

○人によって解釈が異なりそうな言葉

(1) (例) 主体的に	(2) (例) 自分の考え
(3) (例) 自分の考えを深める	(4) (例) 自分の考えを広げる

## 2 解釈が異なりそうな言葉を、具体的に表現します

その言葉の解釈が人によって異なるようにするために、言葉を補って、より具体的に表すとすれば、どう表現しますか？  
右の枠内にそれぞれ書いてみましょう。

1 (1)	(1) (例) 自ら課題意識や目的意識をもって、学習活動に見通しをもつこと
1 (2)	(2) (例) 課題等に対する自分なり(発達段階に応じたレベル、今までの学習で身に付けた力を生かしている、根拠を基にしている 等)の考えをもつこと
1 (3)	(3)
1 (4)	(4)

- 子どもの具体的な姿で表現することができている
- 複数の観点が入り混じった表現となっていない
- どの教科等でも目指すことができる具体的な姿となっている

## 3 「2」のような子どもに育てるために主に育成する力を考えます

「2」が表す子どもの姿を実現させるために、「学力の三要素」を踏まえて、これから育てなければならない力は何か？

【表現例】(①～③は学力の三要素)

- ①基礎的・基本的な知識・技能
  - 言葉の使い方や漢字の習得(知識)
  - 教科等の枠を超えて活用できる力(技能)
  - 発達段階に応じた話す力・聞く力・書く力(技能) 等
- ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
  - 資料等を基に考える力(思考力)
  - 結果から原因を推測する力(思考力)
  - 様々な考えの中から最適解を選び出す力(判断力)
  - 条件に適した方法を選択する力(判断力)
  - 自分の考えを適切な言葉で伝える力(表現力)
  - 思考を可視化する力(表現力) 等
- ③主体的に学習に取り組む態度
  - 自ら問いを發し、興味・関心をもって学ぶ力(意欲)
  - 課題を發見し、学習課題を設定しようとする力(意欲)
  - 学習の見通しをもち、課題を解決しようとする力(主体性) 等

2 (1)	(1) (例) 自ら問いを發し、興味・関心をもって学ぶ力(意欲)
2 (2)	(2) (例) 文章や図表などの資料から情報を選択し整理する力(判断力) 根拠を基にした説得力のある意見を考える力(思考力)
2 (3)	(3)
2 (4)	(4)

- 評価できる力(資質、能力)となっている
- 教科等の指導を通して育てることができる力となっている
- 学力の三要素が含まれている  
学力の三要素とは…
  - ①基礎的・基本的な知識・技能
  - ②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
  - ③主体的に学習に取り組む態度

共通実践事項の検討

評価方法等の検討

等